

今の時代を生きるために欠かせない、  
ニュースを読み解き、活用するチカラをつける検定です。

ニュース時事能力検定(ニュース検定、N検)は、ニュース報道を読み解き、活用する力(時事力)を養い、認定する唯一の検定です。時事力とは、現代社会のできごとを多角的・公正に理解・判断し、その課題をみんなで解決していく礎となる総合的な力(知識、思考力・判断力など)です。大きく変動し、先行き不透明な時代に、人生を切り開くために不可欠な力です。

ニュース検定の特長

- 1 今を読み解く重要テーマをベテラン記者、有識者らのチームが厳選し、良質な問題に練り上げています。
- 2 5分野(経済、暮らし、社会・環境、政治、国際)からバランスよく出題し、総合的な力を測ります。
- 3 問題の難しさが異なる六つの級から選んで受験できるため、それぞれの目標を容易に設定できます。合格の達成感がさらなる学習の動機づけとなり、時事力をスムーズに高めていくことができます。
- 4 各級に対応した公式教材(この本や、ほかの級に対応したテキスト、問題集)を取りそろえています。自学自習に配慮した公式教材を活用すれば、初めての方でも合格に必要な力を無理なく養えます。
- 5 受験後の「結果通知」で問題別の正誤と分野、分野別正答数が分かるため、得手不得手を容易に把握できます。公式サイト上で公表する丁寧な解説も、弱点を克服するための復習をサポートします。
- 6 N検の資格取得者は全国約400校(大学・短大、高校)のAO・推薦入試などで評価・優遇されています(2018年1月現在)。時事力を養うことは、就職活動における筆記試験・面接対策にもなります。
- 7 N検は学校の学びと深い関係にあります。公民、地理歴史などの学習を現実社会と関連づけて深める目的で、N検や公式教材は多くの学校で利用されています。大学の入学前・初年次教育などでも活用されています。

各級の目安と検定内容

級	レベル	受験対象の目安	程度
1級	★★★★★	高校生、大学生・一般	新聞の社説レベルの記事も読み解き、社会や自分の新たな課題を設定できる。
2級	★★★★	高校生、大学生・一般	ニュースを批判的に読み解き、自分なりの意見を導ける。
準2級	★★★	中学生、高校生、大学生・一般	さまざまなニュースを、現代社会の諸問題と関連づけて理解できる。
3級	★★	中学生、高校生、大学生・一般	基本的なニュースを、社会の仕組みの中に位置づけて理解できる。
4級	★	小学生、中学生、高校生	新聞やテレビのニュースに関心を持ち、自分の暮らしと結びつけて考えられる。
5級	★	小学生、中学生	国内を中心に、社会のルールやできごとに関心を持つ。

●検定時間 各級50分 ●設問数 各級45問 ●出題形式 1級：四肢択一(マークシート)、一部記述 / 2～5級：四肢択一(マークシート)

Stage	小学生	中学生	高校生	大学生・一般
Class				1級
				2級
			準2級	
		3級		
	4級			
	5級			

**合格基準**

1級 80点程度/100点満点

2級～5級 70点程度/100点満点

総合的な時事力を測るため、  
五つの分野から出題します。

経済 暮らし 社会・環境  
政治 国際

●検定本番の約6割はこの本から  
2018年度に実施される5級の検定問題(45問)の約6割は、この「2018年度版ニュース検定公式ワークブック 入門編(5級対応)」の中の「わかるかな? 基本のこぼし」「ポイント」「N検にチャレンジ! 練習問題」から出題されます。

す。ただし、「N検にチャレンジ! 練習問題」からの出題は、まったく同じ問題とは限りません。似ている問題も含まれます。

●ニュース検定の公式サイト  
<http://www.newskentei.jp/>



もくじ

この本の仕組みと使い方 ..... 2

テーマ

- 経済分野
- 1 日本の国土と農林漁業 ..... 3
  - 2 さまざまな資源と工業 ..... 6
  - 3 日本の貿易や運輸・観光 ..... 9
  - 4 私たちの食生活と食文化 ..... 12

- 暮らし分野
- 5 私たちの暮らしと消費 ..... 15
  - 6 社会で働くということ ..... 18
  - 7 減る人口、進む少子高齢化 ..... 21

- 社会・環境分野
- 8 ピンチの「環境」守るには ..... 24
  - 9 地域の特色や課題 ..... 27
  - 10 災害列島ニッポン ..... 30
  - 11 共に生きる社会へ ..... 33
  - 12 情報社会に生きる ..... 36

- 政治分野
- 13 憲法と私たちの暮らし ..... 39
  - 14 国の政治の仕組み ..... 42
  - 15 地方の政治の仕組み ..... 45

- 国際分野
- 16 日本とつながりの深い国々 ..... 48
  - 17 平和な世界を求めて ..... 51

- 正解と解説 ..... 54
- 索引 ..... 62
- 2017年重大ニュース ..... 64



■この本の内容は、人名・肩書や国名・組織名を含め、2018年2月末時点の情報に基づいています。  
■この本で使っている写真、図表、イラストなどは原則として、毎日新聞社から提供を受けています。

ニュース検定の5級にチャレンジしたいけれど、どんな準備をすればいいかわからない...そんなあなたを、この「公式ワークブック」が応援します。2018年度の検定で出る問題(45問)のうち約6割は、この本の中に...

基本のことはば
それぞれのテーマに関する基本的なことを確認します。下の「ポイント」が参考になります。
ポイント
そのテーマのポイントです。これを頭にに入れて、練習問題に挑戦しましょう。

正解と解説
コンパクトな「正解と解説」を用意しました。解説にも目を通して理解を深めましょう。

テーマ① 日本の国土と農林漁業
基本のことはば(問題35)
練習問題(問題4, 5)

N検にチャレンジ! 練習問題
1 日本の国土の約4分の3は(A)で占め、残る約4分の1の平地に人口や産業が集中しています。稲作が盛んな地域は、平野(海に面した平地)に多いです。
2 日本の国土の約3分の2は森林ですが、輸入木材に頼りすぎて、林業は衰えてきました。
3 日本の国土の約4分の3は山地(丘陵を含む)で、残る約4分の1の平地に人口や産業が集中しています。

練習問題
四つの選択肢から一つを選ぶ方式で、検定本番と同じです。力試しをして、本番に備えましょう。

総合問題
まとまった文章を読んでいくつかの問題に答える「総合問題」も用意しました。本番の検定問題も、一部は総合問題の形式で出されます。

■本番の検定問題(45問)はすべて、四つの選択肢から一つを選ぶ四肢択一式です(マークシートに記入して解答)。
■本番の検定問題もこの本と同様、原則としてすべての漢字にふりがなを振っています。

1

日本の国土と農林漁業

わかるかな? | 基本のことはば
解答例は54ページ

- ★日本の国土の約4分の3は(①)で、残る約4分の1の平地に人口や産業が集中しています。稲作が盛んな地域は、平野(海に面した平地)に多いです。
★日本では、(②)を営む人が減っているため、農地(田んぼや畑など)が使われずにたくさん余っています。
★日本は森林に恵まれた国ですが、外国の木材が安く輸入され、(③)は衰えてきました。しかし、国産木材の良さを見直そうという動きがあります。
★日本列島の川は外国と比べて短く、流れが(④)です。細長い国土の中央に山脈が背骨のようにそびえているため、山から海までの距離が短いのです。
★日本の太平洋側には、寒流の親潮(千島海流)と暖流の(⑤)(日本海流)が流れています。親潮と(⑤)は東北地方の三陸海岸の沖合で出会います。
こうした(⑥)にはさまざまな魚が集まり、良い漁場になっています。
★多くの狭い湾が入り組むリアス(式)海岸は波が穏やかで、(⑦)漁業などが盛んです。三陸海岸(岩手県など)や志摩半島(三重県)が代表例です。
★地元で生産された農産物や水産物を、その地域で消費しようとする取り組みは(⑧)と呼ばれます。

ポイント

- 日本の国土の約4分の3は山地(丘陵を含む)で、残る平地(平野と盆地)に人口や産業が集中しています。稲作(米づくり)が盛んな地域は、平野(海に面した平地)に多いです。
●日本では、農業を営む人が減っているため、農地が使われずにたくさん余っています。
●日本の国土の約3分の2は森林ですが、輸入木材におされて、林業は衰えてきました。
●太平洋側の寒流(親潮=千島海流)と暖流(黒潮=日本海流)は、東北地方の三陸海岸の沖合で出会います。こうした潮目(潮境)は、良い漁場となっています。
●リアス(式)海岸は細長い湾とその間に突き出た半島からなり、養殖漁業などが盛んです。